

次なる25年の飛躍に向け意思統一!!

アーバン3地本・本社総支部 結成25周年を記念する集い

2018年(平成30年)10月24日、大阪リバーサイドホテルにおいて、「JR西労組アーバン3地本(京都・大阪・神戸)・本社総支部結成25周年を記念する集い」を開催した。京都地本からは、地本執行部・青年女性委員会、各支部代表者の30名が出席した。



「JR西労組の歴史」「ディスカッションの課題提起」を行う中央本部里内副委員長



パネルディスカッション(会場風景)

JR西労組は、1991年12月6日に、旧JR西労組と西日本鉄産労の両組織が民主的な労働組合の結成に向けて組織統一され、新生JR西労組(現在)が誕生し、約2年前の2016年12月6日に結成25周年を迎えた。私たちが、アーバン3地本(京都・大阪・神戸地本)本社総支部は、本年10月24日に25周年を迎えることができた。1993年(平成5年)6月1日に、本社直轄地域を3分割し、京都・大阪・神戸の3支社とする組織改正が行われた。



近畿地本執行委員長(当時)

京都地本初代執行委員長の竹内義明氏



第2部レセプションの司会をする西岡書記長



京都・大阪・神戸地本・本社総支部による「飛躍を誓う調印書」

現在、私たちは、約8年前の2010年(平成22年)12月1日にアーバンエリアの組織改正が行われ、近畿統括本部が発足したが、発足に際しても、3地本・総支部で連携し、状況判断・決断を行い、業務関係を中心とする「近畿協議会」を発足して、現在、活動を進めている。今集会は、25周年を迎え、あらためて歴史を振り返るとともに、これからのJR西労組運動を発展させるために、果たすべき役割、将来にわたり持続的に発展させるために、三地本・総支部で心合せを行った。第1部として、中央本部里内副委員長より、「JR

西労組の歴史」と「ディスカッションの課題提起」が行われ、続いて、中央本部上村書記長にコーディネーターを務めていただき、各「パネルディスカッション」を行った。第2部として、25年前の近畿地方本部で役員を務めていただいた諸先輩をお招きし、記念レセプションを開催。諸先輩方から、直接、当時の実体験や歴史を学ぶことができた。集会では、結成25周年の意義を噛みしめ、JR西労組運動をみんなで実践し、次代に向かって飛躍するため、意思統一を図った。

集会は、座長に川端委員長を選出し、冒頭に地方本部を代表して安全の確立をはじめ当面する取組み、政治活動、情勢の報告、賃金実態調査に対する御礼等挨拶を行った。その後、禅野賃金対策部長から労働協約改訂交渉についての解説を受けた。京都地本西岡書記長から「職場活動の充実と強化、政治課題、当面する地本の活動」等について提起した。その後、4名から質問や意見提言を受けた。若い組合員が増えていく中、成果の共有化や問題点の抽出の大切さについても認識を新たにした集会であった。

中央本部との対話集い

京都地方本部は、10月3日に滋賀県教育会館において「中央本部との対話集い」を開催した。集会には、各級機関役員50余名が参加、中央本部から里内副委員長・禅野賃金対策部長に出席いただき労働協約改訂における成果の確認と当面する運動について意思統一を行った。

= 主な行事予定(地本関係) =

- 11月 2日(金) ヤングユニオン研修
- 3日(土) ヤングユニオン研修
- 7日(水) 経小 雪害対策について
- 9日(金) 連合滋賀「第28回地方委員会」
- 11日(日) 退職者協議会「秋のハイキング」
- 12日(月) 連合京都「三役会議」
- 13日(火) JR西日本連合「単組代表者会議」
- 14日(水) 連合京都「執行委員会」
- 16日(金) 京都地本「第3回拡大執行委員会」
- 18日(日) 青年女性委員会「第26回定期委員会」
- 20日(火) 京都交運労協「鉄軌道部会第2回幹事会」
- 24日(土) 運転部会「第26回定期委員会」
- 27日(火) 近畿協議会「第9回定期総会」
- 28日(水) 営業部会「第26回定期委員会」
- 30日(金) JR連合近畿地協「第28回拡大幹事会」

※10月は3分会大会終了 11月の分会大会は7分会で開催